

「交通」「環境」「エネルギー」「医療・健康」等の分野横断的なスマートシティの実現を目指して、最新のICTや官民データ等を活用した交通分野における都市内での人流コントロール技術を検証・確立することで、スマートなまちづくりの社会実装モデルを創出する。

■ 対象区域のビジョン

横須賀市が掲げる3つのスマートシティのビジョンのひとつである「活力の溢れるまち」では、域外からの訪問者にやさしく、多様な人々が絶えず市内に流入し、自らのコンテンツ、文化をしなやかに発展させることを目指している。また、テクノロジーを活用して、まちの魅力を効果的・効率的に発信することで、持続的な産業活性化を実現することを目指している。

■ 対象区域の課題

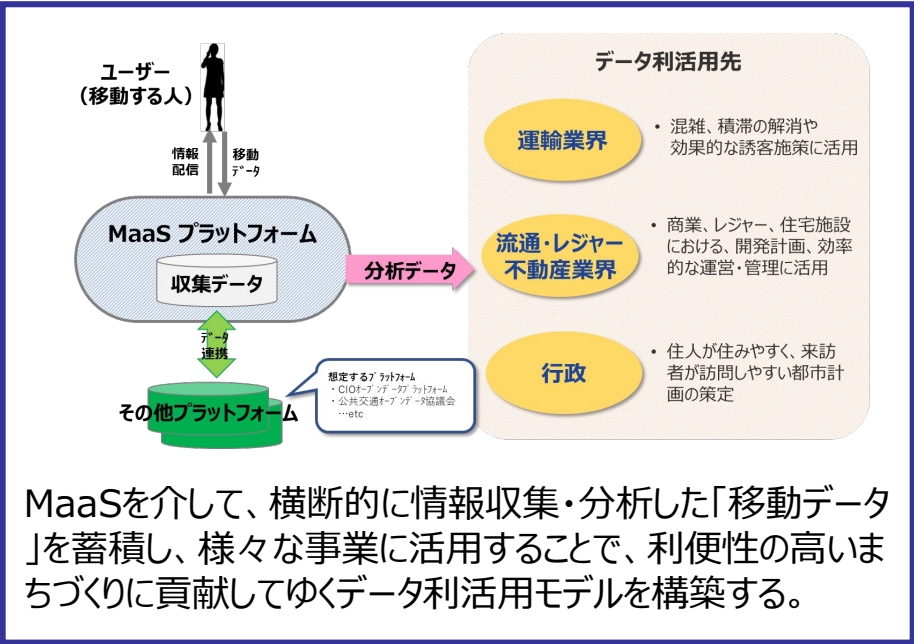
急激な人口減少と産業流出が進行。人口減少の背景には、谷戸など移動が困難な地域が多いことも一因。また、三浦半島は観光地が点在しており、総じて、モビリティ(移動性)に係る課題を多く有している。

■ モデル事業の取組み内容

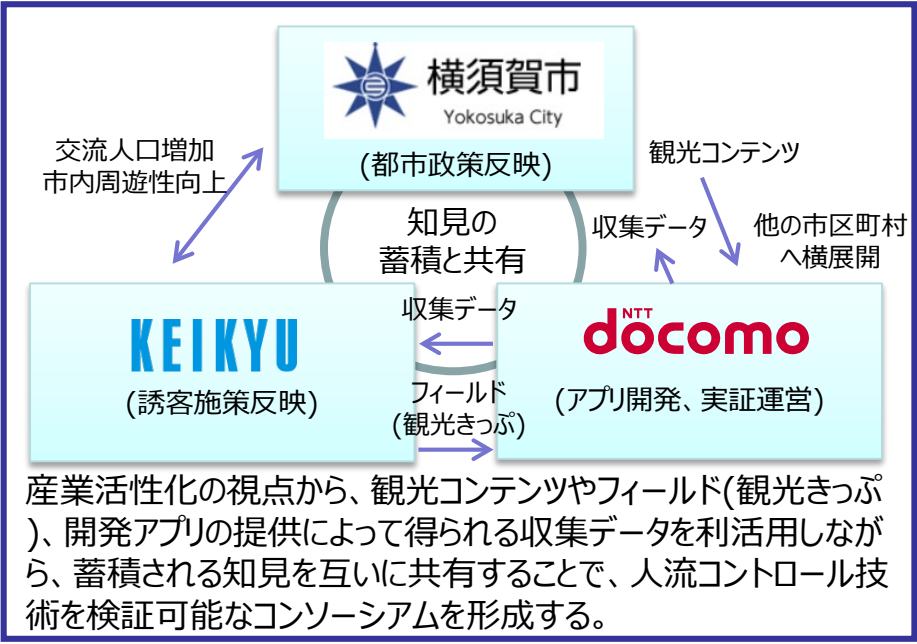
ロードマップの最終形で目指す分野横断的な人流コントロール技術の基礎を確立すべく、まずは投資効果の高い「産業活性化」を対象として、横須賀市内で京急電鉄の観光きっぷを利用する観光客を対象に域内周遊性を向上させるデータ提供機能を有したスマホアプリを導入して、交流人口の増加に係る効果を検証。



データ利活用方針

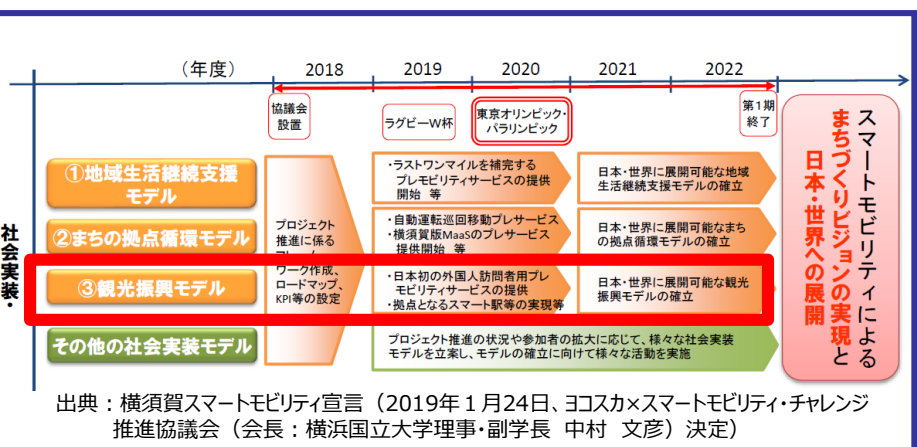


運営体制



スケジュール

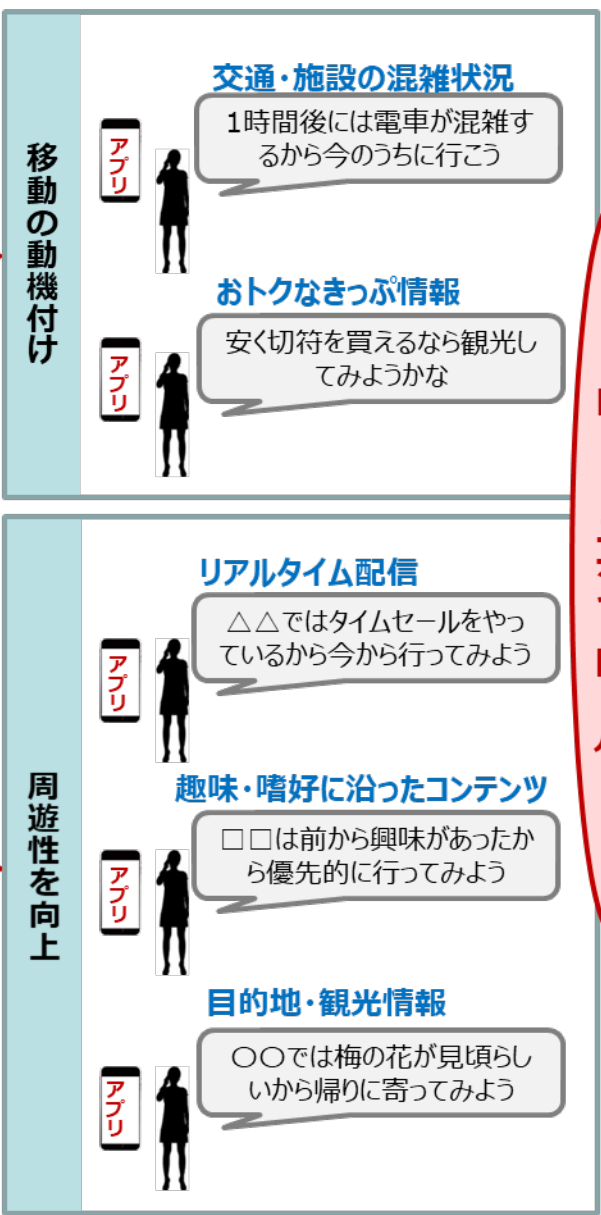
横須賀市におけるモデル展開計画に基づき、2020年度までのプレサービス提供及び2022年度までのモデル確立を目指し課題解決を推進する。今年度は京急電鉄の観光きっぷを利用する観光客を対象にした移動性向上の実証を行う。国際的なスポーツイベントなど実証による効果測定を行い、2021年度までのモデルの定着にむけて、観光コンテンツやアプリ機能の拡充を図りながら同市他エリアへの展開を目指す。得られた知見を同課題を抱える他の市区町村への横展開を図ると同時に日本における移動課題の解決に寄与する計画である。



MaaSプラットフォーム



行動変容の促進



誘客施策への反映



都市政策への反映

